

(様式2)

## 学校関係者評価報告書

松山北高等学校中島分校

学校番号( 22 )

評価実施日		令和5年2月10日(金)	
委員	氏名	所属等	備考
	金本 房夫	元松山市教育委員会委員長	
	河野五七男	前中島分校後援会長	
	田口 栄子	ハピネス中島	
	神野 泰二	中島中学校長	
	三好江津子	中島分校PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) マニフェストの実現に向けた取組 少人数であることを生かしたきめ細やかな学習指導、進路指導、中島の地域性を生かした特色ある体験活動を充実させることが大切だと感じた。</p> <p>(2) 進路指導 多様な進路先が確保されている。生徒たちの願いに沿った進路保障が高校の場合、特に大切だと感じた。</p> <p>(3) 生徒・保護者の学校評価 全体的に高い評価を得ていてすばらしい。特に保護者の満足度が全観点において高いことに驚いた。分校の努力が伝わっていると感じた。</p> <p>2 定期船乗船時の生徒の態度</p> <p>(1) 「挨拶をよくする」「真面目な生徒が多い」「学生にしては大人しい」等分校生の他の乗客に対する態度や利用状況がすごく評判が良いと聞いている。船の利用マナーが良いことは、今後中島分校を選んでもらい、存続させていくことへの大切な要素の一つであると思う。</p> <p>(2) 生徒たちが、車椅子での乗船を手伝ったり、転倒したお年寄りに駆け寄り手助けしている場面を見た。心優しい生徒たちが多く感じた。</p> <p>3 学校給食 学校給食の利用状況について、立ち上げにかかわった身としては気になっている。</p> <p>4 中学校との連携 同じふるさと中島にある学校同士、しっかり連携、交流していければと考えている。島外から中島中学校に入学した生徒たちが、中島分校へ進学する可能性は十分にあると思う。</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 大浦港で朝、挨拶運動をしている生徒たちを見ていつも素敵だと思う。地域を大切にしたい心優しい生徒の育成を今後もお願いしたい。</p> <p>(2) みかんアルバイトの取組は、高齢化している農家も多く、来年度以降も生徒に積極的に呼び掛け継続してほしい。</p>	<p>・少人数を生かしたきめ細やかな指導と地域の特性を生かした体験活動は中島分校の生命線である。マンネリ化することのないよう常にアップデートを心掛けたい。</p> <p>・学力差の大きな生徒に対応すべく人員増を要望し、教科の講座別授業を増やし、基礎学力の定着、及び、進路実現につなげたい。</p> <p>・保護者の一定の理解を得ていることはありがたい。今後も、家庭との連携を密にし、学校と家庭が一体となって生徒を育てたい。</p> <p>・毎日利用する定期船であり、他の乗客への配慮はことあるごとに指導している成果と考える。また、お年寄りや障がいを抱えた方への配慮は、生徒の素養と中島分校でのいろいろな人たちとの関わり合いのなかから育ったと思われる。心優しく傷つきやすい生徒も多い。今後もあらゆる機会を通して、生徒たちの自己肯定感、自己有用感を育み、他者との共生が当たり前にできる生徒を育てていきたい。</p> <p>・今年度の利用率は82%であった。次年度も積極的に利用を呼びかけたい。</p> <p>・和太鼓、動画撮影関係で連携・協力を行った。小・中合同運動会に教職員が参加するなど交流を行った。今後、体育大会や文化祭などに小・中学生が参加しやすくなる工夫をしたい。</p> <p>・朝の挨拶運動は分校の伝統的な取組である。地域の人たちから愛される学校づくりの一環として今後も継続していきたい。</p> <p>・地域の活性化の一つとして取り組んだものである。今後も、地域への恩返しの意味も込めて積極的に生徒に勧めていきたい。</p>